



これからの飯田の学びの合言葉は「ムトスの学び」 ムトスの学びで未来をつくる

「ムトスの学び」ってなに？

「探究的な学習」はみんなにとって大切な学習だってことは知っているかな？飯田市では「探究的な学習」をみんなが持っている「どうしてかな？」とか「やってみたいな！」という疑問や願いを大切にしながら進めていきたいと思っているんだ。たとえば、学校で勉強したり、地域のお祭りに参加したり、自然の中で遊んだり、色々な人と出会って話したり… 友達と考えをしっかりと伝え合って、そして**自分の本当に好きなことや得意なことを見つけてほしいんだ。**

好きなことや得意なことは、自分からいっぱい勉強しよう、たくさん挑戦しようと思うよね。こうして**自分からどんどん勉強したり挑戦したりすると、自分で考えて、自分で行動できる力が身につくんだ。**

こういう学習のことを「ムトスの学び」というんだ。

「ムトスの学び」は、未来を自分の力で切りひらいていく力を身につけるためのものでもあるし、そのことで地域が元気になる原動力でもあるんだ。

4月から飯田学園構想が始まるけど「楽しい学園にしたいな」「そのために何ができるかな」とか、部活動が地域クラブ活動になったときに「自分は何にチャレンジしようか」など、自分で考え、自分で行動していくと、そのこと一つひとつがみんなの力になっていくよ！

飯田学園構想の詳細はこちら⇒



部活動地域移行の詳細はこちら⇒



連載 いいだコミュニティスクールの取組紹介

こどものやりたいを支えるクラブ活動

追手町小学校では、地域のやさしいおとなの人たちがクラブ活動の先生になってくれています。自分で入りたいクラブを選んで、伝統文化やニュースポーツを楽しく学ぶことができます。たとえば、「日本文化クラブ」では、水引に興味があったお友だちが、地域の先生といっしょに作品を作って、クラブの時間以外でも作品を見せてくれました。地域の人たちといっしょに学べるって、とてもすてきなことです！



ムトスの学びの大切なポイントがひと目で分かる絵にしてみました



私の問いや願いをもとに学びを深め
好きや得意を見つけて共感しあい
地域を愛する人材を育みます



地域でも



家庭でも



みんなは、おうちのひと「あいさつ」「お話」「お手伝い」「本を読む」ことを大事にしているかな。飯田市では家族とふれあう時間を「わが家の結いタイム」って呼んでいるんだ。また、家族へのあたたかい気持ちや楽しかった思い出を短い文章で表す「三行詩コンクール」も開催しているよ。今年の入賞作品はこちら！みんなで拍手！！

私と地域の未来をひらく「キャリア教育推進フォーラム」

伝え合い
みんなで語り合おう

保育園のお友達から短大生の皆さんまでが、「どうしてかな？」「やってみたいな！」と思って、自分で考えて調べたり、体験したりしたことの発表があったよ。飯田ってとてもいいところだなんて、みんなで感じ合えたね。発表を聞いた会場の大人の方からは「みんなのやりたいことを応援できる地域にしたいな」とうれしい感想もあったね。みんなの学びや気づきが、周りの大人にも広がっているよ！



授業でも



ICT もしっかり活用するよ！

中学生の皆さんは小学校のときからタブレットを使っているから、使い方にもすっかり慣れてるね。分からないことがあったらすぐに調べられるし、図や写真を入れて、分かりやすく説明することだってできるよ。それに、友だちの考えが一目で見られるから、「こんな意見もあるんだ！」と気づくことができ、自分の考えを深めるのにも役立つね。



家族の時間も大切に



わが家の結いタイム
三行詩コンクール

受賞作品の一覧はこちら⇒



令和6年度 特選作品

園児の部

わたしはおかあさん
りっくんはおとうさんにだっこで
えほんをよむの
それがいちばんうれしいじかん
羽場こども未来園 年中
市瀬 碧心さん

小学校低学年の部

「本よんであげるよ」
もうよめるのに
だけど読んで。
丸山小学校 2年
近藤 ゆいさん

小学校高学年の部

おふろのふたを
しめるのはぼくの仕事
帰りがおそいおとうさんが
あったかいおふろに入れるように、
しっかりふたをしめてます
松尾小学校 4年
矢澤 晴大さん

中学校の部

「家族が好きな訳を教えてください。」
えっ
理由なんてある訳ないじゃん！！
緑ヶ丘中学校 3年
橋爪 双葉さん

一般の部

給食着のアイロンをかけながら
また1週間頑張ってるね。
と心で願う 日曜日
野崎 美菜さん